

## 阿蘇草原再生の内容

### 1

#### 草原環境の基本である 草原面積の量を確保します。

##### 目的

阿蘇の草原環境は、日本一の面積を誇る野草地に支えられており、その草原景観と相まって重要な自然資源となっています。この広大な面積の野草地を極力維持・拡大することを目的とします。

##### 計画の対象

阿蘇地域内の牧野組合管理地及び現況野草地並びに、その周辺を対象とします。

##### 基本方針

事業実施箇所については、利用者の多い道路沿いなど景観的に重要な場所及び生態系保全上重要な場所を優先して検討を行います。また、事業実施後、牧野組合等地元関係者により管理がなされる必要があることから、事業実施に際しては牧野組合等の意向を十分に聴取し、役割分担をして進めるものとします。

#### 内容

野草地保全のために不可欠な基本的管理である野焼きを継続するため、輪地切りを省力化するための整備等を実施します。

##### 施策例

- ・ モーモー輪地切りの整備、小規模点在樹林の除去、防火樹林帯の整備、管理道としても使用できるトレッキングコースの整備等
- ・ ボランティア等による野焼き、輪地切りの支援の拡大



野焼きの支援ボランティア

##### モーモー輪地切り



良好な野草地を再生するための整備を実施します。

##### 施策例

- ・ 管理されずに放置され藪となっている草原を、良好な野草地に再生
- ・ 利活用されていない改良草地等を、良好な野草地に再生



藪化した放牧地

良好な草原景観を再生するための整備を実施します。

##### 施策例

- ・ 景観牧柵の整備による良好な草原景観の創出
- ・ 草小積み等草原文化と結びつけた草原景観の再生



草小積み

# 2

## 草原の生物多様性の源である 多様な草原環境を保全します。

### 目的

阿蘇の草原環境は、多様な地形等の条件の下でさまざまな形で放牧、採草等の管理がなされていることによって、非常に多様な生態系を有しています。この多様な草原生態系を保全・再生することを目的とします。

### 計画の対象

阿蘇地域内の牧野組合管理地及び現況野草地並びに、その周辺を対象とします。

### 基本方針

特に多様な草原生態系を形成する上で重要とされる採草作業が、近年急激に減少していることから、採草地の草原環境の再生に重点的に取り組みます。また、希少な動植物の生育・生息地について、優先して検討を行います。なお、新たな事業を進める際は、実証的な手法によりその効果等を確認しながら進めるものとします。

### 内容

#### 採草地の拡大のための事業を行います。

##### 施策例

- ・ 小型機械による採草地の拡大についての検討
- ・ 野草資源の利用・流通の促進
- ・ ボランティアの活用による採草地の拡大についての検討



畑の土づくりなどにも利用される野草ロール



ボランティアによる採草作業

#### 希少な動植物の生育・生息地の保全・再生を行います。

##### 施策例

- ・ 希少種の重要生息地の保全整備
- ・ 草原生態系として重要な草原内湿地の保全整備



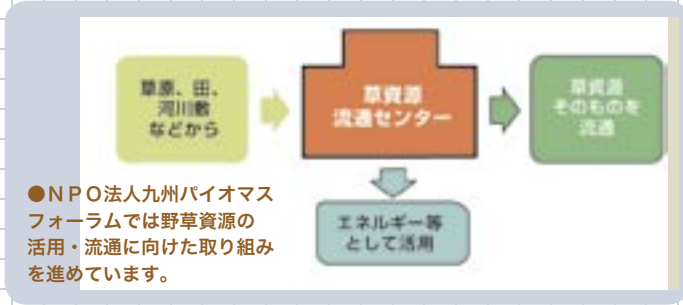
リュウキンカ



サクラソウ



草原内の湿地



# 3

## さまざまな主体との協働を促進します。

### 目的

阿蘇の草原環境は、地元を主体とする野焼き、採草、放牧等の維持管理により成立していますが、現在では地元関係者だけでは維持管理が困難になってきています。阿蘇の草原は、多くのNPOなどの団体、ボランティアをはじめとする個人、行政など関係機関が関わることにより守られています。これらのさまざまな主体と連携し、新たに維持管理に参加する人々を増やし、また、関係する施策と調整することによって、阿蘇の草原の保全・再生を継続的に行うことができるようにすることを目的とします。

### 計画の対象

阿蘇地域内の草原に関わる活動を行っている団体、個人及び国・県・市町村を対象とします。

### 基本方針

阿蘇の草原を継続的に保全・再生するためには、継続的に地域に関わる団体・個人が重要であることに鑑み、各種の協力と支援を行います。その際、社会経済的な仕組みの検討を行いつつ進め、団体・個人が継続して自主的に取り組むことができるよう配慮を行います。また、草原環境の保全・再生に寄与する農畜産業の推進など、農政や地方自治体の関与が不可欠であり、関係機関との連携を図っていくものとします。

## 内容

### NPO等関係団体との協働を図ります。

#### 施策例

- ・ ボランティア団体の草原再生に関わる自主的な活動への支援
- ・ 野草資源の流通や農業における野草利用の拡大を図る団体への協力、及び草原再生につながる活動の促進
- ・ その他草原再生につながるさまざまな活動団体との協力



収穫した野草をハウス内で乾燥させる



野草たい肥を利用した農産品に草原再生シールを貼付して販売

### 関係機関との協議・協働を推進します。

#### 施策例

- ・ 関係機関との協議を十分に行い、草原再生につながるような施策について協働
- ・ 特に農畜産業の形態が、より草原環境の保全・再生に配慮したものとなるよう啓発・協力・連携



関係機関との協議

### ボランティアや都市住民との協働を図ります。

#### 施策例

- ・ ボランティア等による野焼き、輪地切りの支援の拡大
- ・ ボランティアの活用による採草地の拡大についての検討
- ・ 都市住民による草原維持管理支援の促進



草原維持管理支援





# 4

## 草原環境学習を推進します。

### 目的

阿蘇の草原を維持する活動をより活発にするためには、草原環境の保全・再生に関わる人々がその意義を理解することが不可欠と考えられます。そのため、阿蘇地域内外の子供たちをはじめ、多くの人々に阿蘇の草原環境の仕組みや成り立ちを学んでもらうことにより、①子供たちや阿蘇地域内の人々には草原に関わる仕事の大切さや誇りを伝え、さらには将来地域において草原保全に関わる後継者となる者が増えるようにすること、②阿蘇地域外の人々には二次的自然の大事さを伝えるとともに、阿蘇の草原環境の保全・再生に主体的に参加する者が増えるようにすることを目的とします。また、二次的自然を代表する阿蘇の草原環境にとどまらず、人が関わってきた自然を多く有する日本の自然環境への理解が深まることも期待されます。

### 計画の対象

阿蘇地域の人々及び阿蘇を訪れる地域外の人々を対象とし、特に子供や学生に重点を置きます。

### 基本方針

草原環境学習を推進するための教材の作成や人材の育成を図ります。また、子供や学生をはじめとする阿蘇地域内外の人々が、阿蘇の草原環境を学べる拠点施設や、実際の草原で学ぶことができるフィールドの整備について検討します。さらに、さまざまなフィールドや施設と連携するとともに、団体や個人の活動との協働を図ります。

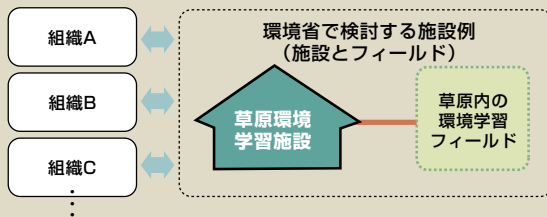
## 内容

### 草原環境学習拠点の整備と活用を図ります。

#### 施策例

- ・ 草原環境学習を行うための拠点施設の整備
- ・ 草原環境学習講座等の開設
- ・ 草原環境に関わる研究、データ等の収集・提供

#### ●環境学習拠点とネットワーク



### 草原環境学習フィールドの整備を図ります。

#### 施策例

- ・ 子供たちをはじめとする多くの人々が草原環境の仕組みを学ぶことができるフィールドの整備
- ・ 希少な動植物に接し、阿蘇の草原の重要性を学ぶことができるフィールドの整備



屋外での学習風景

### 教材の作成や人材の育成を図ります。

#### 施策例

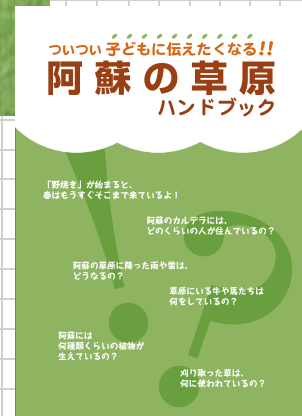
- ・ 草原環境を学ぶための教材の作成
- ・ 草原環境学習を推進するための人材の育成



草原環境学習用カレンダー



修学旅行生用教材



教師用ハンドブック

# 5

## 情報発信など総合的な取り組みを進めます。

### 目的

阿蘇の草原環境を保全・再生するには、地域内外の多くの関係する人々が一体となって取り組むことが必要です。そのため、取り組みにあたって、連携を図るための組織の設置、多くの関係する人々との情報の共有などを進め、地域内外一体となって取り組むことができる環境を整備することを目的とします。

### 計画の対象

阿蘇地域内外に関わらず、阿蘇の草原環境の保全・再生に関わるすべての人々を対象とするとともに、全国に向けて情報を発信します。

### 基本方針

草原再生を進めるにあたって、地元の人々をはじめとする関係者と意見を交し合意形成を図るとともに、草原再生で取り組んでいる内容や考え方について広く情報の発信と共有を行うこととします。

### 内容

関係者との合意形成の場を設置します。

#### 施策例

- ・ 阿蘇草原地域自然再生協議会、行政等連絡会議、研究者会議等、協議の場の設置
- ・ 牧野組合意見交換会の開催



研究者会議



意見交換会

情報の発信と共有を図ります。

#### 施策例

- ・ 草原データベース作成、草原再生ホームページの更新
- ・ 草原再生ニュースレター、パンフレット等の発行

